

## 環境心理生理運営委員会 議事録 2013 年度 第 2 回

文責 辻村

- A. 【日 時】 2013 年 10 月 25 日 金曜日 (17:30~19:30)
- B. 【場 所】 建築会館 会議室
- C. 【出席者】 松原斎樹(主査)、合掌頭(幹事)、辻村壮平(幹事)、  
秋田剛、大石洋之、大野隆造、土田義郎、西名大作、  
槇究、宗方淳  
順不同・敬称略
- D. 【配布資料】 2013 年度 第 1 回環境心理生理運営委員会議事録(案)  
2013 年度 第 2 回環境心理生理運営委員会議事次第  
2014 年度 各小委員会活動計画案  
2013 年度 第 2 回環境工学委員会報告資料  
※2013 年度より、資料に関しては印刷物ではなく  
オンラインストレージサービス機能を用いてデータで配布している。

### E. 【報告事項】

#### 1. 2013 年度 第 1 回環境心理生理運営委員会議事録(案)の確認

前回議事録(案)の確認を行った。記載内容について修正に関する指摘・意見が特になかったため、正式な議事録として承認された。

#### 2. 2013 年度 第 2 回環境工学委員会の報告

第 2 回環境工学委員会には合掌幹事が代理出席された。第 2 回環境工学委員会の内容に関して、特に本運営委員会に関連の深い事項について合掌幹事から報告があった。

##### ■ 講習会・シンポジウム等の動画配信について

現在、講習会・シンポジウム等の動画配信については、建築会館ホールで開催されるもののみが対象となっているが、建築会館ホールを含む複数の会場で開催される場合も動画配信の対象とすることを検討願いたい。

##### ■ 会員外の委員の申し合わせ

会員外の方に委員となってもらう場合は、理事会に提出する委員委嘱申請書に委嘱理由を記載しなければならない、委員会の主査は会員外の委員に入会を積極的に働きかけてほしい。

##### ■ 建築学会大会の若手表彰（優秀発表賞）の設立について

建築学会大会において若手研究者のための優秀発表賞のような若手を表彰する仕組みを作る方針が環境工学委員会で提案されており、材料・歴史・構造（シェル）・建築社会システム分野では本年度の大会より実施されたと説明があった。環境工学分野でも 2014 年度より実施する方向であり、各運営委員会で大会発表を対象にした若手表彰の設立に向けて、評価の枠組み（開始時期、表彰の対象者、審査方法、審査委員）などを検討し、意見をまとめなければならない。

##### ■ 2014 年度大会（近畿）の日程について

2014 年度大会は 9 月 12 日～14 日（未確定）に神戸大学で開催されることになっている

る。OS 提案や原稿提出の締め切り等については以下の通りである。

- ・ OS 提案締め切り：2013 年 11 月 18 日
- ・ 原稿電子投稿締め切り：2014 年 4 月 8 日
- ・ プログラム編成会議：2014 年 4 月 22 日

■ 2014 年度大会の OS テーマについて

本運営委員会を含めて 5 件の OS 開催が承認された。OS テーマ及び主旨（200 字程度）を 11 月 18 日までに学術推進委員に報告しなければならない。

■ 2014 年度委員会活動計画案の提出について

2013 年 10 月 25 日が提出締め切りとなっていた。本運営委員会及び関連するそれぞれの小委員会の主査が作成した活動計画案を本運営委員会の松原主査がとりまとめて提出した。

■ 2014 年度日本建築学会大賞・文化賞業績候補推薦について

次回（2013 年 11 月 28 日）の環境工学本委員会で候補者を検討する。候補者の推薦は 11 月 22 日までに事務局（担当：榎本さん）に連絡する。

■ 2014 年度日本建築学会教育賞（教育業績）候補について

荒谷先生を推薦することに決まった。

■ 卒業論文等顕彰事業委員会への委員の選出に関して

卒業論文等顕彰事業委員会への委員の選出について、環境心理生理分野から 2013 年 12 月～2015 年 11 月の任期の委員を 1 名推薦してもらいたいと依頼があった。

■ 小委員会の資料閲覧者に関して

委員会資料の PDF 化とオンラインストレージサービス機能に関する資料閲覧者について、所属していない委員会の資料を応募によって閲覧できるような仕組みの公開範囲に関して議論が行われた。その中で、「議事録ならよい」、「著作権の問題がある」、「各委員会が許可した資料のみであればよい」などの意見が挙げられた。

■ 2013 年度大会の研究集会資料の無償公開

研究協議会や研究懇談会の資料は、大会終了 1 年後に無償公開することとした。

■ WG 委員の追加について

環境心理小委員会傘下の WG への委員 2 名の追加が承認された。

### 3. 2014 年度の各小委員会の活動計画案

2014 年度の各小委員会の活動計画案が提出され、その内容についてそれぞれの小委員会主査が報告した。なお、各小委員会の旅費については、支給対象者 1 名あたり 2 回と統一することが確認され、本運営委員会に出席している全委員の承諾を得た。

○ 環境心理小委員会（主査：榎委員）

傘下には 3 つの WG が設置されており、本年度と同様に、2014 年度も本小委員会では各 WG の活動を取りまとめる。チュートリアル運営 WG（主査：辻村）では、次年度も第 14 回チュートリアルを開催する予定である。また、チュートリアル開催については、スカイプの利用などによる東京以外の地方会場での開催や、そのための開催地域の先生の WG への参加・協力して頂ける体制づくりを行う。環境心理研究手法 WG では環境心理研究の発展について議論し、研究発展の方向性に関する検討を行う。「可愛い」を求め

る心と空間のあり方に関する研究 WG では、本年度に 3~4 回の見学会を開催しており、電子版冊子 1、2 号を発行している。2014 年度も同様の体制で活動する予定である。

○ 持続性社会の環境心理小委員会（主査：宗方委員）

本年度は、ブレインストーミングにより持続性社会のために環境心理的知見が必要な分野や課題の抽出、関連する研究知見の収集と整理、全体のフレームワークの構築などを議論している。現在、WEB 調査の計画が 2 件あり、さらに来年度に向けて研究会の開催を検討している。2014 年度はこれらの活動を継続し、研究会を開催する予定である。さらに、海外の動向にも目を向け、その視点の収集、確認を行う。

○ 心理生理のフロンティア小委員会（主査：土田委員）

本年度は第 1 回委員会を 6 月に開催しており、半公募型シンポジウムの開催や初学者向けの研究手法に関する研究会・シンポジウムなどの開催に向けた活動を行っている。2014 年 1 月 11 日に若手研究者を対象としたシンポジウムを開催する。2014 年度も同様の活動を実施する予定であり、研究会・シンポジウムの開催にあたってはチュートリアル運営 WG と交流しながら進めていく予定である。

## F. 【審議事項】

### 1. 2014 年度建築学会大会の OS テーマについて

2014 年度建築学会大会の OS テーマ及び採否の審査方法について議論を行った。本年度の OS について、「具体例についての発表よりフレームワークについての発表が興味深かった」や「具体例の発表に質問が偏ってしまい、もう少しフレームワークについて議論される方が望ましかった」といった意見が出された。また、OS の原稿募集について、「テーマによっては、原稿が出てきた時点で責任者がある程度全体の方向性を示していくことも必要である」との意見があった。「心理学会のワークショップのように、コーディネータがスピーカーを募る形式もあり得るのではないか」との意見もあったが、一方で「公募の要素を残したい」との意見も挙がった。

OS のテーマに関する議論について、「ビッグデータとスモールデータ」、「脳波やアイマークなどの生理量のデータの切り出し」、「研究結果をデザイン（特にパブリック空間のデザイン）にどう活かすか」、「評価の構造」など、様々な意見・キーワードが出されたが、議論が収束しなかったため、2014 年度に関しては、楨委員に OS テーマ案（今回の議論では「評価構造（あるいは、評価の構造）」をキーワードとすることが有力）をいくつか考えて頂き、近日中に ML に流して頂く事となった。OS 検討メンバーは環境心理小委員会から選出する事が決まった。なお、OS の研究発表は最低 4 題、最大 8 題である。従って、OS への投稿数が 8 題を超えた場合には、本運営委員会主査及び幹事も加わって採択について議論することとした。

OS テーマの提案や採択方法に関しては、その流れをマニュアル化しておくことが望ましく、今後は、まず本運営委員会で責任者（小委員会主査から選出する）を決め、さらに OS 検討メンバーを選出する（責任者からの推薦）ような流れとしておきたいと松原主査から意見が挙がった。

### 2. 建築学会大会の若手表彰（優秀発表賞）設立に向けて

大会発表を対象とした若手表彰（優秀発表賞）の設立のため、本運営委員会では開始時

期、表彰の対象者、審査方法、審査委員など評価の枠組みを検討しなければならない。検討が必要な項目としては、実施時期、選考方法、受賞対象者の範囲などがあるが、今回は十分な議論ができなかったため、今後、継続して議論する事とした。

### **3. 卒業論文等顕彰事業委員会への委員の選出に関して**

卒業論文等顕彰事業委員会への委員の選出について、本運営委員会からは西名委員が推薦され、西名委員には委員委嘱を快諾して頂いた。

### **G. 【次回の開催日程】**

2013年11月28日（木） 17:30～19:30